

期 日 令和5年11月30日(木) 午後1時30分～午後5時(受付午後1時～)
12月1日(金) 午前8時45分～午後3時30分

会 場 [1日目] 静岡文化芸術大学 南388 中講義室C
(〒430-8533 静岡県浜松市中区中央二丁目1-1)
[2日目] 視察研修会
1 ヤマハ株式会社 (〒430-0904 浜松市中区中沢町10-1)
2 スズキ歴史館 (〒432-8062 浜松市南区増楽町1301)
3 浜松まつり会館 (〒430-0845 浜松市南区中田島町1313)

主 催 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
静岡県工業技術研究所

[1日目] デザイン分科会 (参加28人)

- 1 開会
- 2 挨拶

デザイン分科会長

産業技術総合研究所 研究チーム長

静岡県工業技術研究所長

静岡文化芸術大学 教授

岡村 成将

宮田 なつき

櫻川 智史

永山 広樹



岡村成将会長 宮田なつき様 櫻川智史所長 永山広樹教授

- 3 経済産業省デザイン政策室の取組について
経済産業省デザイン政策室 下藤 菜々子
デザインで解決する地域の課題、地域とデザイン人材の関
係づくり、自治体でのデザイン活用、人材活用事例



- 4 研究発表・ライトニングプレゼンテーション
(1)ハンディキャップがある子どもに対してのスト
ロー補助具

東京都立産業技術研究センター 酒井 日出子

既存品調査と全国アンケート調査の結果を踏まえ、「ス
トローサポート」、「カップホルダー」、「ストップスト
ロー」の3タイプのリユースを意識したストロー補助具試
作品の開発。



(2)人間中心設計に基づく製品設計事例～介護動作教育支援システム&トイレ介助機器開発するための調査
静岡県工業技術研究所 易 強

介護従事者の腰痛予防のためにセンサと情報通信の技術を活用した指導支援システムの改良提案、移乗介助負担の低減に繋がる機器開発のためのトイレ介助の作業時間分析。



(3)「次世代事業創出デザイン支援事業」の取り組み
神奈川県立産業技術総合研究所 佐々 知栄子

生活支援ロボットの商品化達成+「総合的デザイン支援」「事業計画策定支援」「新規事業創出支援有識者(メンター)」での支援



(4)第18回ひろしまグッドデザイン賞について
広島市産業振興センター 田中 志保

広島広域都市圏(一部県外)に応募対象拡大、応募から審査までをオンライン対応として事務処理軽減、受賞企業のページ充実によるものづくり側の思い発信、全応募者へのフォローなど



(5)木質資源と高機能素材を活用した家具の開発
徳島県立工業技術センター 室内 聡子

徳島県産杉とCFRPを利用したツール試作について、材料強度試験からの設計、トポロジー最適化、強度解析などから複合材の設計紹介。



(6)静岡県のデザイン開発・支援ストーリー
静岡県工業技術研究所 多々良 哲也

昭和後期～平成～令和にわたるデザイン業務について、黎明期(ノックダウン家具、巻き戸)、発展期(CG利用、自立補助具)、最近の依頼デザイン(ポスター、カラーリング、組子文様)紹介



5 全体会議

デザイン分科会開催当番及び分科会長選出方法の改正について、現在の6ブロックによる輪番制から4ブロックに改正する。意見として年2回開催から年1回にしたいとの意見もあり、今後の検討とする。



6 次年度開催県等挨拶

令和6年春 石川県工業試験場 餘久保 優子

・2日目には、地場産業関連の見学会を開催予定。

令和6年秋 宮崎県工業技術センター 西原 玲子

・デザイン部門の人数が少ないので、オンライン開催の予定。

次期分科会長 兵庫県立工業技術センター 平田 一郎



[2日目] 視察研修会 (参加25人)

1 ヤマハ株式会社 (〒430-0904 浜松市中区中沢町10-1) 9:00~11:00

デザイン研究所長 川田 学氏から、ヤマハの哲学並びに楽器と音楽の展開事例についての講演と、イノベーションロードにおいて、楽器の歴史から最新技術までの解説をいただいた。



2 スズキ歴史館 (〒432-8062 浜松市南区増楽町1301) 11:30~12:30

スズキ株式会社知的財産部の方から、時代を彩った製品開発並びにデザインの歴史と、そこに息づく“スズキの精神”について説明をいただいた。





- 3 浜松まつり会館（〒430-0845 浜松市南区中田島町 1313） 14:20～15:10
毎年5月に行われる浜松まつりについて、ボランティアスタッフから、起源、凧揚げ合戦、御殿屋台引回し、各町の凧のデザインなどの説明をいただいた。



- 4 閉会挨拶（バス移動中） 15:15～15:30
静岡県より、参加者にお礼の挨拶。次回以降も盛り上げていきたいと発言。